

今週の相場はどうなる？ 今週の相場はどうなる？

作成者：山根亜希子

○3月16日～

中東の混乱はすぐにはおさまりそうもなく、長期化する可能性が出てきました。

先週は週明けから日経平均が大暴落し、リスク回避的な動きが強まりました。

と言っても昔と違って、日経平均の暴落＝円高の動きは見られません。

最近ではトリプル安(株安・通貨安・債券安)で、日本が全部売られるという動きが目立ちます。

すでにガソリン価格などが値上がりしています。

これから色々なモノが上昇したり、供給不足でモノが手に入りにくくなるかもしれません。

製造業は生産が止まってくる可能性もあり、日本経済にも大きな影響がでそうです。

米国とイスラエルはどこで攻撃をやめるのかははっきりしないこともあり、イランはラマダン(断食期間)があける3月19日から攻撃を強めるのではという予測もあります。

ホルムズ海峡の閉鎖は中東諸国の貿易にも影響が出るため、いつまで閉鎖を続けることができるかです。一部の国は通過できるようにするという話や、原油を人民元で取引するなら通過できるというような話も入ってきています。

カナダがアジア向けに天然ガス(LNG)の増産をしているため日本もカナダからの輸入は増えているようです。

しばらくは、ガソリン価格を抑えるために備蓄を放出するようですが半年以上も閉鎖が続けば日本経済は動かなくなってしまいます。

米国とイスラエルの同盟国に対しては厳しい対応をすると言っているため日本もイランから厳しい対応をされる覚悟はしておかないといけません。

今回の動きで為替相場では有事のドル買いの動きが見られます。

最近是有事のドル買いの動きも多く、円だけでなく他の通貨に対してもドルが強くなっていくかどうか見ておく必要があります。

そして、今週は各国で金融政策を決める会合が多く、日米欧以外にもオーストラリア、カナダ、スイス、英国で政策金利発表があります。

今回日本は金利を上げることが難しいという予想が多いですが、ドル／円が160円を超えてきた場合はどういう対応をするかです。

米国は雇用が比較的安定していることや、インフレ懸念のため利下げの可能性は低そうです。

原油高が長期間続くとすれば、世界的にインフレが進むリスクがあり、各国の中央銀行は年内に利上げに動く可能性もありそうです。

日銀金融政策決定会合で日本が利上げを見送った場合、一気に円安が進行し、介入の動きが出るというシナリオも想定しておきたいです。

今週は、乱高下が起こるリスクが高いためリスク管理に注意したいです。

今週の相場はどうなる？ 今週の相場はどうなる？

● テクニカルで見た重要ポイントは？

<ドル/円>

ドル/円は2月中旬につけた152円台を底に1か月間じわじわと円安に動いています。

先週末は159円後半まで値を上げて、マーケットが終わっています。

160円を超えると2024年の夏につけた161円台後半がテクニカル的には視野に入ってきます。

160円を超えると介入に対して何らかの動きが出てくる可能性があるため注意がいらいます。

下値は159円を割り込むと157円台までは下がるかもしれません。

157.3円あたりで下げ止まれば堅調な動きが続きそうですが、157円割れとなれば155.8円あたりまで下げてくるかもしれません。

<気になるクロス円>

クロス円は週足で見るとまだ上昇トレンドが続いているペアがほとんどですが日足で見ると先週末あたりに大きな陰線が出ているペアも多く、崩れてくるかもしれません。

週明けから下落の動きとなれば警戒した方がよさそうです。

米ドルが他の通貨に対して強くなってきていることもあり、クロス円の勢いが弱まってきています。

ユーロは週足でも崩れてきそうなので、買いは様子見がいいかもしれません。

*クロス円とは円との通貨ペアの総称：〇〇/円というような通貨ペアのことです。

<今週のファンダメンタル？>

日本では2月貿易統計、日銀金融政策決定会合、1月機械受注、植田・日銀総裁定例会見などがあります。

米国では3月ニューヨーク連銀製造業景気指数、2月鉱工業生産、2月景気先行指標総合指数、2月住宅販売保留指数、2月卸売物価指数、1月製造業新規受注、FOMC政策金利発表、パウエル・FRB議長定例会見、1月対米証券投資、前週分新規失業保険申請件数、3月フィラデルフィア連銀製造業景気指数、1月新築住宅販売件数などが発表されます。

欧州ではユーロ圏とドイツで3月ZEW景況感調査、ユーロ圏で2月消費者物価指数、ECB(欧州中央銀行)政策金利発表、ラガルド・ECB総裁定例会見などがあります。

ほかには、オーストラリア、カナダ、スイス、英国で政策金利、ニュージーランドで10-12月期GDP、英国で英中銀金融政策委員会(MPC)議事要旨の発表などがあります。